



豪州多文化主義政策交流プログラム ～オーストラリアの先進事例に学ぶ多文化共生～

(一財)自治体国際化協会シドニー事務所 所長補佐 岡崎 昭子 (高知県派遣)

人口の約3割が海外生まれという多民族国家オーストラリアでは、行政、NPO、地域社会が一体となって多文化主義政策を展開しています。

クレアシドニー事務所では、地方公共団体や地域国際化協会等の関係者が、オーストラリアの先進的な取り組みを実地で学ぶ機会を継続的に提供してきましたが、新型コロナウイルス感染症パンデミックの影響を鑑み、2021年度は、9月から11月にかけて、4回のオンラインプログラムを開催しました。

第1回 ニューサウスウェールズ州消防庁

ニューサウスウェールズ州消防庁は、同州の多文化主義原則に基づき、文化的多様性への寛容性を持って任務にあたることを重視しています。

同州政府の難民雇用プログラムに参加し、難民を職員として雇用しているほか、文化的・言語的に多様な背景を持つコミュニティに関する知見の深い職員の採用にも注力しており、同庁には10言語に対応できる専門チームがあります。

また、移住者の定住を支援する関係機関と連携することにより、多様なコミュニティとの信頼関係の構築や効果的な情報発信を可能としています。

さらに、支援対象地域における自宅訪問や、語学学校での啓発活動等を通じて、日頃からの備えを促進するとともに、有事の時に頼ってもらえる存在になれるよう努力を重ねています。

講師は、「移住者やコミュニティへの働きかけにおいても、関係機関との連携においても、当方が必要であろうと考える援助ではなく、先方が必要としている援助を提供することが重要であり、そのためには地域と深く関わりニーズを把握する必要がある」と強調していました。そして、参加者からの質問に答え、同庁の情報発信にお

ける工夫や、支援対象者との交流について、個別具体的なアプローチ方法も共有してくれました。



多様な文化に配慮した啓発資料の紹介

第2回 移民情報センター

移民情報センターは、個々の移住者の強みやスキルを活かして、移民の定住および豪州社会への統合を促進しています。

同センターの多言語ケースワーカーは、移住者の定住支援、家族向けの育児支援、青少年を対象とした職業スキルアップ支援を提供しています。各コミュニティのボランティアの協力を得ることにより、規模の大きい支援も可能にしています。

また、特徴的な事業としては、多文化ビジネスコネクトが挙げられます。これは、文化的・言語的に多様な背景を持った事業者を対象とし、起業、計画、マーケティング、人事に至るまで支援するもので、将来的な雇用創出や事業の拡大、貿易の展開も視野に入れて、専門スタッフが、必要なアドバイスやスキルを適宜提供しています。

質疑応答では、同センターのスタッフに求められる資格や経歴、またサービス利用者の強みを実践につなげる手法について具体例を交えて掘り下げたほか、企業やコミュニティ等、移住者を受け入れる側に対する支援はどのように行っているのかという逆の視点からも理解を深めることができました。



多文化ビジネスコネクトについての説明

第3回 ナビタス英語学校

移住者にとって、移住先の共通言語を修得することは、日常生活や就業における必須課題です。オーストラリアでは、これに対する支援が非常に手厚く、例えば成人移民向けの英語プログラムは、従来、最大510時間の範囲内で提供されていたところ、2割の家庭が英語以外の言語で会話しているという国勢調査の結果を受け、2021年4月より受講時間の制限が撤廃されました。



成人移民向け英語プログラムの説明

ナビタス英語学校は、前述のプログラムを含む連邦政府の支援事業を受託し、読み書き、計算、デジタルスキル、就職に役立つスキルを習得できるコースを提供しています。

受講者は、自身のレベルに合ったクラスで、週末や夜間にも勉強できます。また、校舎には、無料で就学前の子どもを預けられる保育施設が併設されているほか、相談員やボランティアの個別指導サービスもあり、受講者の英語学習を全面的に支援しています。そして、学習が進捗した受講者は、就職に特化した語学訓練に移行することもできます。さらに、同校では、雇用主とともに研修内容を策定してスタッフの能力向上を図る研修も請け負っています。

質疑応答では、各研修の対象者に制度をどのように周

知しているのか等の質問がなされました。

第4回 エスニックコミュニティサービス協会

エスニックコミュニティサービス協会は、文化的に多様な背景を持つコミュニティにおいて、障がい者、児童とその家族、高齢者と介護者が、それぞれ利用権のある社会保障サービスを活用し、社会参画するための支援を行う非政府機関です。

スタッフは、105言語に対応しており、言語のみならず、文化的な理解を持って接する訓練を積みながら、孤立しがちなコミュニティに出向いて活動しています。

例えば、障がい者は、ボランティア活動を通じて労働現場で役立つ経験を積むことができ、子どもたちは、母国語で支援を受けることにより、自らのアイデンティティに誇りを持てるようになります。高齢者に対しては、買い物の付き添いサービスやグループでのアクティビティ等を提供するとともに、事業者の対応能力の向上にも取り組んでいます。

参加者からは、同協会の運営に係る質問も寄せられ、多文化共生推進において中核的な役割を果たす非営利団体への関心の高さが窺われました。



多様な文化的背景を持つ子どもたちへの支援策の紹介

おわりに

豪州多文化主義政策交流プログラムは、豪州の先進的な取り組みについて学ぶ貴重な機会として、毎年、好評をいただいております。クリアシドニー事務所では、2022年度も、皆様にとって有意義な研修をお届けできるよう、開催形式を含め検討しています。参加者募集はクリア本部ホームページ上でご案内する予定です。次回も、皆様とともに、多文化共生への考察をさらに深化させられることを楽しみにしています。